

# 循環型社会へ向けたリンクスの取組み



**私たちは、  
貴重な資源を余すことなく再利用し  
地域社会に貢献いたします。**

We contribute to the local community through the product of energy.

使用済み廃食油は、流せば水質汚染、  
燃やせば地球温暖化を加速させます。

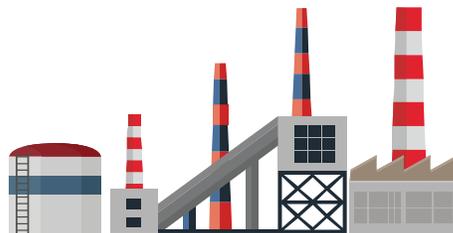
# 事業スキーム



石けん・BDF・飼料、肥料など



回収した廃食油・残渣から再生された製品の利用をご提案



石けん・SAF・BDF・飼料・インク塗料などの製造

目に見える  
リサイクルの輪



保管した廃食油を各製造メーカーへ輸送

企業・自治体・飲食店から排出される廃食油



〈回収事例〉

- ・ローソン様・セブンイレブン様  
全国400店舗以上
- ・歌広場様50店舗
- ・星野リゾート様
- ・首都圏認可保育園165施設他多数



## 廃食油 回収ボックス

[使用済食用油]

近年需要の高まる廃食油を、より広く回収すべく開発しました。回収BOXを設置することで近隣のゴミの削減にも寄与します。

残油混入防止メッシュ網付き	サイズ	W370 × D370 × H800 mm
雨水侵入防止パッキン付き	容量	20 リットル
溢漏防止用鍵付き	材質	鋼板 (ステンレス)

(本体カラーご指定いただけます)

廃食油を回収



# 廃食油回収を通じた地域貢献



## ハンドソープ再利用事例



首都圏の約4,500店舗の飲食店から廃食油の回収実績！！

・施設から回収した廃食油をリンクスで回収

・廃食油を脂肪酸メーカーへ販売

・高純度脂肪酸の精製（築野食品工業(株)）

・石けんの製造（アスケー石鹼(株)）

・リンクスからお取引先へ販売

- ゴミの削減
- SDGs推進
- 感染症予防
- イベント実施



株式会社さくらさくみらい様  
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/00000016.000071467.html>

ライクキッズ株式会社  
<https://www.like-kd.co.jp/news/2763.html>

ご利用実績 保育園数300施設（約14,000人）  
 ご利用製品 あわぷくハンドソープ（液体）/荷姿10kg  
 使用量 3,500箱/年 ※令和7年1月～12月実績

ご参考価格	単価※税別	単位
廃食油買取	円	kg
あわぷくハンドソープ10kg無香料	4,800円	箱/10kg
リサイクル手洗用液体石鹼10kg香料入り	5,400円	箱/10kg

※令和7年7月現在の価格となります。

# 使用済み食用油回収フロー※リサイクル石けんの場合



お客様から弊社指定業者にて  
定期的にお引取り

回収専用ヤード  
にて保管

油脂メーカーへ納入し  
石けんの原材料を製造

石鹸メーカーへ原材料を納入  
しリサイクル石けんを製造

回収からリサイクル製品のご納品までワンストップでのご提供が可能！！

【納入先油脂メーカー】  
築野食品工業株式会社

URL : [築野食品工業株式会社 | 公式企業サイト \(tsuno.co.jp\)](http://tsuno.co.jp)

【回収ご担当業者】

株式会社リンクス

〒243-0424 神奈川県海老名市社家5-2-14

TEL 0467-38-4321 fax 0467-38-4244

URL : [linx-shonanoil.com](http://linx-shonanoil.com)

# 【保育園導入事例 1】

## 【保育園×SDGs】 さくらさくみらい各園で廃食油石鹸を導入

持続可能な環境課題への貢献と、園児・保育士への啓発を推進

株式会社さくらさくみらい 2022年6月24日 17時21分



「子ども・保護者・職員」三者の笑顔に満ちた子育て環境の創出を目的に、東京を中心に保育所「さくらさくみらい」の運営を行う株式会社さくらさくみらい（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西尾 義隆、以下「当社」）は、2022年4月より順次、園児・職員へのSDGsの理解促進の取り組みとして、廃食油リサイクルにより生まれた「エスケー石鹸」のさくらさくみらい各園への導入を開始いたしました。また6月より、SDGsのロゴをあしらったオリジナルデザインのボトルの導入も開始し、更なるSDGsの啓発に努めています。



会社名：株式会社 さくらさくみらい

（株式会社 さくらさくプラス[証券コード：7097]グループ会社）

代表取締役社長：西尾 義隆

設立：2009年8月3日

資本金：93,004,900円(資本準備金43,000,000円)

本社所在地：東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル8階

企業URL：<https://www.sakura-39.jp/>

事業内容：保育所（さくらさくみらい）の運営 ※事業所数：東京/千葉/埼玉/大阪に85園

# 【保育園導入事例 2】

廃食用油を再利用したリサイクル石鹸をライクキッズの認可保育園165施設で導入開始  
～毎日の手洗いで食育・環境問題を体感し、考えられる子どもを育てる～

ライク 2024年4月16日 10時00分



保育・人材・介護の事業を展開するライク株式会社（東京本社：東京都渋谷区、代表取締役会長兼社長 グループCEO：岡本 泰彦、以下 ライク）の子会社で、子育て支援サービス事業を営むライクキッズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡本 拓岳、以下 ライクキッズ）は、廃食用油を再利用した、手肌にやさしいリサイクル石鹸の導入を2024年4月より165ヶ所の認可保育園にて開始しました。



商号：ライクキッズ株式会社

代表者：代表取締役社長 岡本 拓岳

所在地：〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ ウェスト17階

設立：1989年12月

事業内容：認可保育園である「にじいろ保育園」をはじめ、学童クラブ・児童館等、様々な形態の保育施設を運営する「公的保育サービス」、事業所内保育施設(企業・病院・大学等)の運営を受託する「受託保育サービス」を提供。

資本金：50百万円

URL：<https://www.like-kd.co.jp/academy/>



# 注目企業として多くの企業さまともイベント開催！！

令和4年(2022年)9月20日号(毎月20日発行)

www.newstokyo.jp

Work & Business 12

令和6年(2024年)5月20日号(毎月20日発行)

www.newstokyo.jp

Work & Business 12

## 社会に貢献するために 第38回



「エスケー石鹸」が取り組む「リサイクル石けん」(写真、テータ全て提供: リンクス)

### 温暖化につながる原料を使わず 水資源を守る石けんを製造

リンクスが手がける「リサイクル石けん」は、一般家庭や飲食店で使用された食用油の原料となっている。この技術および製造自体は、東京都北区に本社を構える「株式会社エスケー石鹸」という創業100年を超える企業が生み出したものだ。同社は、高度経済成長期に増加し、現在も多くの家庭で使用されている「合成洗剤」の排水による環境汚染につながるリスクに早くから着目、「中和法」と呼ばれる製造方法で環境に配慮した高品質な石けんの製造を行っている。そして2022年、今回取り上げた「リサイクル石けん」を製品化した。その存在と価値を早く見出し、普及に取り組んできたのが、現在リンクス専務取締役を務める岩崎弘弘さんだ。

「この石けんを使用することで、原材料となる『パーム油』由来の動物脂肪を減らすことが可能で、ご存知の方も多いかもしれませんが、『パーム油』を採取するアブラヤシは、1年を通して高くかつ特性を持つため、生産効率が良く、世界各国で大量生産され、食用油や石けん、洗剤の原料として使用されています。ただ、そのために大規模な森林破壊による温暖化や労働問題、野生動物への影響などが指摘され、地球規模の問題になっています。この『パーム油』由来の動物脂肪の代わりに、食用廃油を原料に使用しているため、環境保護への貢献が可能となります。



左がリンクスの共同代表者(白ひたひ) 右がエスケー石鹸専務取締役、岩崎弘弘さん(青ひたひ) 代表者岩崎弘弘さん(白ひたひ) 専務取締役、岩崎弘弘さん(青ひたひ)

## 株式会社リンクス

### 回収×利用で地球を守る 使用済み食用油を使った石けん

使用済みの食用油を回収して再利用する。水質汚染につながる石けんを使用する。それぞれ独立した環境保護活動であるが、同時に実現するモデルは、ありそうではなかった。「回収」という入口と「利用」という出口、双方から環境保全に貢献できる「リサイクル石けん」事業の普及に取り組む、株式会社リンクスのキーマン二人に話を聞いた。

取材/種彦 高

食用廃油はそのまま流せば水質汚染、燃やせば温暖化の一因になるため、水資源の保護にもつながります。

それでは、この石けんの使用感は抜群です。環境にも人も安全でやさしい石けんを、一人でも多くの人に知ってもらいたいと思い、約20年普及に努めてきました。

### 廃油回収の専門企業と出会い「回収」利用が広がる

技術的には確立されている「リサイクル石けん」だが、普及を拡大する上で課題はいくつかあった。そのひとつが、安定的な廃油の回収および輸送。この分野には、専門車両やノウハウを持つ事業者との連携が必要だ。また、石けんを作るための廃油処理は、和歌山の協力企業の技術がなければ行えず、そこまでの輸送ルートや物流拠点の確保も課題だった。

その課題を解決したのが、今回取材したもう一人のキーマン、リンクス代表取締役の片岡洋平さんだ。リンクスは「湘南オイルサービス」として、その名の通り神奈川県地域で食用廃油のリサイクル事業を行ってきた企業だが、2016年、片岡さんが代表取締役として事業を引き継いだ。

「高品質のバイオディーゼルを生成し、自動車や発電のエネルギーに代えることで、温暖化防止に大きく貢献する素晴らしい事業だと感じ引き継ぎました。ただ、事業を行う中で、リサイクル事業の社会的評価の低さを実感し、働く社員も自分信を持つ仕事にするためにも、その価値を広める必要があると感じていました。そんなとき、弊社は石けんの営業にきた岩崎さんと出会い、石けんの価値とともに、廃油回収の課題を聞きました。弊社は廃油回収の専門車両もあり、和歌山までの中継拠点もある。これこそ弊社が取り組むべき事業だと感じ、岩

崎さんにも人社してもらいました」と。

「『情報』とのコラボで認知向上 関東および東北に回収エリアを拡大 事業化して1年に満たないが、二人は全国の食用廃油の回収ルートの開拓に奔走。すでにあったリンクスの回収ネットワークも生かし、現在、拠点の神奈川県を中心に、千葉、埼玉、山梨、東京を網羅し、東北エリアにもまで進出している。

さらに、「情報」の全国組織である「一般社団法人日本書房協会」と連携し「あからせけんプロジェクト」を立ち上げるなど、新しい廃油回収のシステムの構築にも挑戦している。「SDGs 普及の影響から、日本全体で環境問題に対する意識も高まり、回収エリア拡大の追い風になっていると思います。ただ、首都圏はリサイクルに対する理解が比較的に定着しているものの、地方での理解度は今でも低いのが実情です。各地での普及も地道に続けつつ、『情報』のように全国的なインパクトを与える組織と連携し、限りある資源を余すことなく利用できるこの石けんの取り組みをさらに多くの人々に知ってもらいたいと思います」(岩崎専務)

### 単発でなく継続的な導入へ 市区町村単位で広げたい

「高品質のバイオディーゼルを生成し、自動車や発電のエネルギーに代えることで、温暖化防止に大きく貢献する素晴らしい事業だと感じ引き継ぎました。ただ、事業を行う中で、リサイクル事業の社会的評価の低さを実感し、働く社員も自分信を持つ仕事にするためにも、その価値を広める必要があると感じていました。そんなとき、弊社は石けんの営業にきた岩崎さんと出会い、石けんの価値とともに、廃油回収の課題を聞きました。弊社は廃油回収の専門車両もあり、和歌山までの中継拠点もある。これこそ弊社が取り組むべき事業だと感じ、岩

崎さんにも人社してもらいました」と。「『回収』と『利用』、この事業に参加する選択は二つありますから、現場で導入しやすい方から始めてもらえばいいと思います。ただ、本音はどちらも取り入れて欲しい。そう



令和4年9月20日号 第177号



「SAF」への廃油供給について語った、株式会社リンクスの岩崎専務取締役(左)と片岡代表者(右)。

「『回収』と『利用』、この事業に参加する選択は二つありますから、現場で導入しやすい方から始めてもらえばいいと思います。ただ、本音はどちらも取り入れて欲しい。そう

「『回収』と『利用』、この事業に参加する選択は二つありますから、現場で導入しやすい方から始めてもらえばいいと思います。ただ、本音はどちらも取り入れて欲しい。そう



リンクスが運営する『湘南オイルサービス』施設内で廃油を回収する様子(2023年9月) (提供: リンクス)

## 社会に貢献するために 第53回



「SAF」への廃油供給について語った、株式会社リンクスの岩崎専務取締役(左)と片岡代表者(右)。

### 廃油から「SAF」を作る 国内の先端プロジェクトに参加

今年2月、株式会社リンクスは、日揮ホールディングス株式会社、コスモ石油株式会社、合同会社サファイアスカイエナジー、レボインテリナショナルで構成される、「SAF (Sustainable Aviation Fuel = 持続可能な航空燃料)」の活用プロジェクト「IPRY (食用廃油) to FLY (空を飛ぶ) Project」への参加を決定した。

「SAF」とは、「持続可能性のクラリティア (評価基準) を満たす、再生可能な又は廃棄物を原料とするジェット燃料 (環境省) を指す。従来、航空燃料は石油を原料とし、燃焼時に大量のCO<sub>2</sub>が排出されたままとなるが、「SAF」は主にバイオマス原料が用いられ、排出されるCO<sub>2</sub>は実質カウントされないこととなっている。

「SAF」はここ数年、国際的に急速に注目が集まっているが、その背景には、欧米を中心とした航空業界に広がる大規模なCO<sub>2</sub>削減に向けた動きがある。

### 2年間で回収能力は大幅増加 自治体の理解も深まる

「輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出も考慮すると、国内原料で製造したSAFを国内の航空燃料に使用するのが、原価の多くを海外に依存している現状から、我々の廃油回収・輸送能力を活かして、国内 SAF 原料の増加に貢献できれば嬉しいです」。



リンクスが運営する『湘南オイルサービス』施設内で廃油を回収する様子(2023年9月) (提供: リンクス)

www.newstokyo.jp

Work & Business 12

## 株式会社リンクス

### 航空業界のCO<sub>2</sub>を大幅削減 世界的に注目される廃油再生の形

本誌177号で紹介した、使用済み食用油を回収し、環境に優しい「リサイクル石けん」の原料として供給するリサイクル事業を覚えていたのだろうか。その事業を手がける株式会社リンクスは、原料となる廃油の回収先を着実に増やす一方で、世界的に注目が集まる新たな廃油のリサイクル事業への参加が決定。CO<sub>2</sub>排出の大幅削減が期待される航空燃料「SAF」への供給をスタートさせた。



「SAF」への廃油供給について語った、株式会社リンクスの岩崎専務取締役(左)と片岡代表者(右)。

「SAF」とは、「持続可能性のクラリティア (評価基準) を満たす、再生可能な又は廃棄物を原料とするジェット燃料 (環境省) を指す。従来、航空燃料は石油を原料とし、燃焼時に大量のCO<sub>2</sub>が排出されたままとなるが、「SAF」は主にバイオマス原料が用いられ、排出されるCO<sub>2</sub>は実質カウントされないこととなっている。

「SAF」はここ数年、国際的に急速に注目が集まっているが、その背景には、欧米を中心とした航空業界に広がる大規模なCO<sub>2</sub>削減に向けた動きがある。

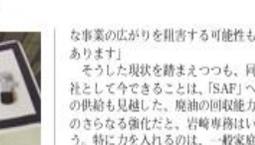
### 2年間で回収能力は大幅増加 自治体の理解も深まる

「輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出も考慮すると、国内原料で製造したSAFを国内の航空燃料に使用するのが、原価の多くを海外に依存している現状から、我々の廃油回収・輸送能力を活かして、国内 SAF 原料の増加に貢献できれば嬉しいです」。

「輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出も考慮すると、国内原料で製造したSAFを国内の航空燃料に使用するのが、原価の多くを海外に依存している現状から、我々の廃油回収・輸送能力を活かして、国内 SAF 原料の増加に貢献できれば嬉しいです」。



令和6年5月20日号 第197号



「SAF」への廃油供給について語った、株式会社リンクスの岩崎専務取締役(左)と片岡代表者(右)。

「SAF」とは、「持続可能性のクラリティア (評価基準) を満たす、再生可能な又は廃棄物を原料とするジェット燃料 (環境省) を指す。従来、航空燃料は石油を原料とし、燃焼時に大量のCO<sub>2</sub>が排出されたままとなるが、「SAF」は主にバイオマス原料が用いられ、排出されるCO<sub>2</sub>は実質カウントされないこととなっている。

「SAF」はここ数年、国際的に急速に注目が集まっているが、その背景には、欧米を中心とした航空業界に広がる大規模なCO<sub>2</sub>削減に向けた動きがある。

### 2年間で回収能力は大幅増加 自治体の理解も深まる

「輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出も考慮すると、国内原料で製造したSAFを国内の航空燃料に使用するのが、原価の多くを海外に依存している現状から、我々の廃油回収・輸送能力を活かして、国内 SAF 原料の増加に貢献できれば嬉しいです」。

「輸送に伴うCO<sub>2</sub>排出も考慮すると、国内原料で製造したSAFを国内の航空燃料に使用するのが、原価の多くを海外に依存している現状から、我々の廃油回収・輸送能力を活かして、国内 SAF 原料の増加に貢献できれば嬉しいです」。

## その廃食油、捨てないでください!!

廃食油(天ぷら油など)のリサイクルで

# SDGs活動を一緒にしませんか?

2月3日(土) 10:00~14:00

SDGsリサイクルキャンペーン実施!!

ペットボトルや牛乳パック等に入れ、読売センターにお持ち込みください

お持ち込みいただいた方には、コネコネマイせつけんを1コ差し上げます!!

コネコネマイせつけんの作り方はコチラから



読売センター 浅草 台東区浅草5-71-6 03-3872-8713

## 集めた廃食油(天ぷら油など)は石鹸に生まれ変わります!!

### 廃食油をリサイクルした石鹸とは

調理場などで発生した「廃食油」を回収、精製することでできた石鹸で、飲食店から官庁、学校などで幅広く使われています。

## 廃食油リサイクル石けんのフロー



廃棄物や、水質汚染の元になる「廃食油」をリサイクルした石鹸は、SDGs目標「つくる責任、つかう責任」と強いつながりがあります。

SUSTAINABLE GOALS 読売新聞は、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け、リサイクル活動を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。

# 「からあげ」せっけんプロジェクト

～廃食油からはじめるリサイクル～

10年・20年先の子どもたちへ豊かな自然を残したい。  
私たちが身近にできることから始めませんか？

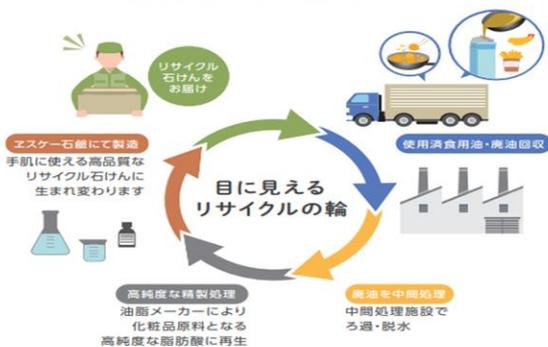


ご家庭や飲食店から使用済みの食用油を集めて  
**再利用すると石けんになります！**



合成でない界面活性剤を使用した“せっけん”は環境にとってもやさしいのです。  
手肌に優しく安全なリサイクル石けんは、全国各地の小学校でも使用されています。

## 〈リサイクル石けんフロー〉



## やさしい石けん / 3つのいいこと



- POINT 01** パーム油由来の脂肪酸原材料を削減することで  
持続可能な循環型社会の構築に貢献できる
- POINT 02** 安全なせっけんという界面活性剤で  
海や川の生態系を保護することが可能
- POINT 03** 合成の界面活性剤ではない“せっけん”は  
安全にやさしく手肌を守ることもできる



## からあげ×せっけんプロジェクト



# 高まる廃食用油需要



## FRY to FLY Project

廃食用油

空を飛ぶ



©Tatsuya Tanaka

SAFが本格的に導入される為には多くの廃食用油が必要となりますが、現在、家庭の廃食用油の多くは廃棄されており、回収された廃食用油についても年間10万トン以上が国外に輸出されているといわれています。「Fry to Fly Project」はご家庭や店舗などで発生する廃食用油という国内資源を原料とするSAFで、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。

## プロジェクト参加メンバー（入会順）

### プロジェクト参加メンバー（入会順）

Fry to Fly Projectは本活動の趣旨にご賛同いただける企業、自治体、団体はどなたでもご参加が可能です。会費も無料となっておりますので是非積極にご参加ください。



## より広く廃食油を回収するために～廃食油回収BOXの開発



(2023年6月撮影)

素材：鋼板（後塗装）

本体サイズ：W370×D370×H800

- ・フタ2段式
- ・残渣混入防止網付き  
(溜まった油の量が目視可能)
- ・雨水防止用ゴムパッキン付き
- ・定価 125,000円（税別）



回収box使用方法



# 自治体での廃食油回収実績

令和5年5月1日現在



自治体名	回収場所	回収/保管方法	回収日	回収量/月	リサイクル	備考
世田谷区	リンクス持込み	積替保管	隔週土曜日	400kg	石けん・飼料・肥料	
大月市	市役所・給食センター	積替保管	第2金曜日	400kg	石けん・飼料・肥料	
千葉市	106校 ご指定場所	積替保管	火・木曜日	6,500kg	石けん・飼料・肥料	
寒川・茅ヶ崎市	25校 ご指定場所	積替保管	第4月曜日	7,000kg	石けん・飼料・肥料	
府中市	保育園6・関連庁舎	積替保管	第2、第4木曜日	2,500kg	石けん・飼料・肥料	
都留市	給食センター・小学校	積替保管	第2金曜日	300kg	石けん・飼料・肥料	
熱海市	小・中学校10校	積替保管	第1水曜日	400kg	石けん・飼料・肥料	
足柄下郡	小学校4校	積替保管	第3水曜日	600kg	石けん・飼料・肥料	
江戸川区	保育園4 小中学校17校	積替保管	毎週月曜日	1,400kg	石けん・飼料・肥料	
平塚市	給食センター・小学校7校	積替保管	第2、第4月曜日	2,000kg	石けん・飼料・肥料	
板橋区	清掃センター	積替保管	第2、第4木曜日	500kg	石けん・飼料・肥料	
下田市	ごみ焼却施設・給食センター	積替保管	第4金曜日	1,000kg	石けん・飼料・肥料	
清水町	保育園2・小中学校5・役場	積替保管	第2水曜日	500kg	石けん・飼料・肥料	
裾野市	小学校8校・給食センター	積替保管	第4水曜日	600kg	石けん・飼料・肥料	
三島市	保育園7園・関連施設	積替保管	第2水曜日	60kg	石けん・飼料・肥料	

# ご挨拶

私たちは資源の再利用による環境汚染及び地球温暖化防止活動を一番の目的としております。

使用済みの廃食油は捨てれば環境に負担をかけますが回収すれば貴重な資源として有効活用できます。

地球温暖化対策は世界中で注目されている緊急課題の一つです。その対策の一つとして使用済みの食用油を原材料としたリサイクル石けん、SAF（航空燃料）などがあります。この再生利用された製品の普及によって少しでも環境への負担軽減に貢献することができるならばと思い、現在はこの事業を基軸として各自治体、各企業様とも連携して取り組んでおります。

今私たちが求められているのは、地球上の限られた資源の有効活用です。弊社は自然の偉大なサイクルを壊さず守っていくために、引続き皆様と共にこの取組みを通じて地球全体はもちろん地域社会へ貢献していくことを大切な目標としています。

今後とも弊社を何卒よろしくお願い申し上げます。

# 会社情報

COMPANY PROFILE

株式会社リンクス  
代表取締役 片瀧洋平

社名 株式会社リンクス  
代表 片瀧洋平  
資本金 5,000,000円  
住所 〒243-0424 神奈川県海老名市社家5-2-14  
TEL 0467-38-4321  
FAX 0462-59-6811  
Mail info@linx-shonan.com  
HP <https://linx-shonan.com>

## 主な取引先（廃油以外商品含む）

出光興産株式会社	株式会社さくらさくみらい
築野食品工業株式会社	ライクキッズ株式会社
(株)レボインターナショナル	社会福祉法人ちとせ会
株式会社丸正	パナソニックインダストリー(株)
浜田化学株式会社	(株)トリドールホールディングス
静岡油化工業株式会社	株式会社ソラシドエア
日本管財株式会社	株式会社実有輝
双日商業開発株式会社	15自治体